

東京都畜産振興プランの概要

【策定の目的】

大都市の消費者へ安全・安心で個性的な畜産物を提供するとともに、子供たちと畜産とのふれあいを柱として食育を進め、良好な都市環境の創出に貢献する魅力ある畜産経営を育てていく。

【基本目標】

- ①都市のメリットを活かし、小規模でも経営継続が容易な畜産物の加工・ブランド化と循環型社会への貢献
- ②生産段階での安全・安心の確保
- ③都民と家畜とがふれあえる場を確保し、食育を推進

畜産をめぐる現状と課題

◎ 畜産農家の長期的な減少傾向に歯止め

都市環境への適応と循環型社会への貢献が必要

- ・家畜排せつ物の適正処理と利用
- ・食品残さの飼料原料としての有効利用

活かしきれてない都市のメリット

- ・おいしさや地元産にこだわる消費者ニーズへの対応不足
- ・農家自身による、肉や牛乳の加工・販売への取り組みが少ない

島しょでの畜産農家の減少

- ・輸送経費、生産コストが割高
- ・島内産牛乳の消費減少による、酪農家等の経営が悪化

◎ 安全・安心に対する消費者からの期待

- ・安全な食に対する都民要望への対応不足
- ・消費者が生産の現場を正しく理解する機会が不足
- ・人獣共通感染症に対する、一層の取組が求められている

◎ 食べ物といのちの大切さを伝えられる畜産への期待の高まり

- ・食べ物、いのちの大切さを実感する機会がない子どもたち
- ・畜産経営が地域に根ざし、都民と身近に接する取り組みが必要

取組の視点

「都市の多様なニーズを反映させやすい」というメリットを活かす

環境への貢献
ブランド力の強化

安全・安心の確保

ふれあい・食育の推進

東京の畜産が目指す方向と具体的取り組み

◎ 魅力ある畜産経営の実現と都市環境への貢献

循環型社会に貢献する畜産業の構築

- ・家畜排せつ物の堆肥化と利用の促進
- ・安全な食品残さ等を飼料原料として積極的に活用

都市のメリットを活かし、畜産を核とした食の起業化

- ・東京ブランド畜産物の生産振興と安定供給
- ・付加価値の付与や品質向上、加工・販売を加えた経営の育成

島ブランドの確立と畜産業の観光資源化

- ・「島しゃも」「島の和牛」「島内産牛乳」など、新たなブランドの開発と利用の検討
- ・畜産業を観光資源として活用

◎ 農場から食卓まで一貫した安全・安心

- ・安全性を追求した飼養管理技術の研究と衛生管理手法の導入
- ・必要な情報が正確に素早く提供される仕組みの整備
- ・家畜保健衛生所での監視体制の強化

◎ いのちの大切さを理解し、食べ物に感謝する心を育む

- ・食育の機会と場の提供
(農林水産振興財団 青梅畜産センターを食育拠点として活用)
- ・都民が家畜と身近にふれあえる環境づくり

環境

経営

島

安全・安心

食育